

今月のおすすめ図書

◆一般図書

中学生のおうちノート術



みおりん／著 実務教育出版

中学生に向けてノートの選び方、授業ノートの作り方などを教科別にくわしく紹介。保護者向けの勉強サポート方法なども掲載されています。

SDGs な生活のヒント

あなたの物の使い方が地球を救う



タラ・シャイン／著 武井摩利／訳 創元社

テーマごとに環境への負荷や自分にできることなどを紹介。それぞれ数ページで読みやすく、少しの工夫で出来ることもたくさんあると気づかせてくれる。

♥児童図書

中学校ってどんなところ？



升野伸子／監修 世界文化社

入学準備から勉強、部活のことまで「楽しい中学校生活」を送るためのヒントが満載。これから中学生になる人はもちろん、保護者にも役立つ一冊です。

きみの行く道



ドクター・スース／さく・え

いとうひろみ／やく 河出書房新社

人生がうまくいくときも、そうでないときも、軽やかなユーモアで背中を押してくれる絵本。新しい世界へ飛び込んでいく方にぜひ。

ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎ 22-2612 FAX 22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、30日(月末資料整理)

楽しいイベントがいっぱい！

4月23日は「子ども読書の日」。4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です。米子市立図書館では、この期間に合わせてさまざまなイベントを行います。どうぞこの機会に、ご家族で読書をお楽しみください。(くわしくは図書館にあるイベントチラシをご覧ください)

◆4月16日(日)

▷けんせつ絵本のおはなし会とワークショップ

午前11時～正午/定員10組、要予約

共催：とっとり建設女星ネットワーク

◆4月15日(土)～5月30日(火)

▷みんなでつくろう！YONA本(よなぼん) だな

▷子どもにおくる本(展示)

▷春のわくわく☆本の福袋(なくなり次第終了)

▷どくしょつうちょう ほか

▼けんせつカルタ



▼ワークショップの様子



今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会、図書館職員)(☆)

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

(☆) 15日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(図書館職員)(☆)

11日(火) 午後4時

「各種講座」

▽つつじ読書会『22世紀の民主主義

選挙はアルゴリズムになり、政治家はネコになる』成田悠輔／著(初めての方☆) 1日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めての方☆)

2日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

11日(火) 午後3時、12日(水) 午前10時30分(1日(土)予約受付開始)

※5月の予約は5月2日(火)受付開始

▽古文書研究会「多比能貫久佐」ほか

22日(土) 午後1時30分

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

8日(土)、22日(土) 午前10時30分

▽「2階ギャラリー」

▽金融犯罪被害の防止に向けた県内巡回パネル展

11日(火)～25日(火)

▽イラストの展示

18日(火)～29日(土)・祝



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

約16年ぶりに
水鳥公園に現れたケリ



胸の下に黒い帯がある
のも特徴

2021年4月3日～4日にかけて、園内にケリが現れました。ケリはハトくらいの大ささで、チドリの仲間では最大です。山陰ではめつたに見ることができず、水鳥公園では2005年10月以来、3回目の記録です。ケリは脚とくちばしが鮮やかな黄色で、くちばしの先は黒く、灰色の頭に大きくて真っ赤な目が印象的です。背中は茶色がかった灰色で、飛ぶと翼の内側と尾羽が白く、翼と尾の先端が黒いのがよく目立ちます。発見場所は、ネイチャーセンターから約500m先の半島で

約16年ぶりにケリが飛来

した。翌日は、センターから右手に見える約200m先の小さな池付近まで寄ってきて、一時はセンターの前を横切り、美しく飛ぶ姿も観察できました。過去の2回は発見当日しか観察できなかつたのですが、翌日まで滞在したのは初めてでした。その後ケリは、北へ飛び去ってしまいました。春は鳥たちの渡りの季節で、普段見られない鳥が現れる可能性が高まります。まめに野鳥観察に出かけると、ケリのような珍しい鳥に出会えるかもしれません。

美術館通信

大広重展 ～東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界～

会期 4月7日(金)～5月22日(月) 会期中無休

米子市美術館開館40周年特別共催展として、浮世絵の名手として名高い歌川広重(1797-1858)の世界を紹介する展覧会を開催します。広重は「東海道五拾三次」を世に送り、四季折々の自然、風物、風土を詩情豊かに表現しています。その風景画はモネやゴッホなどフランスの後期印象派の画家たちを魅了し、強い影響を及ぼしました。

本展では、代表作「東海道五拾三次」55点全てを展覧し、晩年の鳥瞰図「五十三次名所図会」、葛飾北斎の「小判五十三次」と比較展示します。傑作と名高い「名所江戸百景」のほか、戯画や美人画、貴重な肉筆画など幅広く広重作品を紹介します。

☎ 米子市美術館 (☎ 34-2424 FAX 33-0679)



《東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景》大判錦絵